

『主体的・対話的で深い学びの実現』に向けた授業の実践・改善について

室蘭養護学校 白幡 郁恵

○教育ニーズの把握と単元設定について

今年度自身の担当部署・業務、学部主事として担当授業をもたないというところで、授業担当として、授業改善のためのPDCA（計画・実施・評価・改善）サイクルでの実施が難しかったため、今年度業務の一つとして行っていた教育相談を通じた個々の児童の実態、ニーズ等から、新年度入学予定の児童をイメージしての、『主体的・対話的で深い学びの実現』につながる、単元の計画と指導略案の作成を行った。

また、評価については実践していないので、考えられる課題や改善・評価の方法について考えていく。

対象は、新就学予定の児童、新小学部２年生の合同の授業とする。本来は、入学後十分なアセスメントを行ったうえでの授業実践となるが、今回の授業計画は、新年度入学後の学校生活のスタートの合同授業「生活単元：「入学・進級」の単元をイメージしての計画とする。

○資料

- １．単元計画
- ２．指導略案

小学部 「生活単元学習」 単元計画

学習期間：4月

学習集団：小学部1、2年（18名）

担当者：白幡

1 単元名 『入学・進級』

2 単元目標

知識及び技能	★	- 一緒に学習する友達や教師の顔や名前を知る。 - 簡単なルールや約束を理解して活動する。
思考力、判断力、表現力等	◆	- 自分の名前や好きな物を身振りや言葉、カードやイラストなどを用いて発表する。 - 友達や教師と一緒に仲良く遊ぶ。
学びに向かう力、人間性等	●	- 友達や先生に注目したり、話を聞こうとしたりする。 - 交流ゲームや発表に期待感をもち、友達や教師と一緒に活動しようとする。

3 単元計画（計4時間）

日時／時数	指導の重点	学習内容、活動	備考
4月 1	★	「自己紹介をしよう」 - 新しい学習の内容を知る。 - 自己紹介をしたり、友達や先生の自己紹介を見たり聞いたりする。	
4月 2・3	★◆●	「みんなで交流ゲームをしよう」 みんなでゲームをする。 ゲームの内容 『みんなで〇〇』 『カラーボールひろい』 『バルーン』	
4月 4 (学級生単で実施)	◆	「お祝い会の準備をしよう」 1年生→ゲームの練習(前回のゲームを練習する) 2年生→出し物練習	★学年・学級ごとに活動の練習や準備をする。
4月 5・6	◆●	「お祝い会をしよう」 (1) 2年生の出し物 (2) ゲーム (3) 写真を見て振り返る (4) 楽しかったこと発表会	

4 単元の評価規準

知識及び技能	★	- 一緒に学習する友達や教師の顔、名前を知ることができたか。 - 簡単なルールや約束を理解して活動することができたか。
思考力、判断力、表現力等	◆	- 自分の名前や好きな物を身振りや言葉、カードやイラストなどを用いて発表することができたか。 - 友達や教師と一緒に仲良く遊ぶことができたか。
主体的に学習に取り組む態度	●	- 友達や先生に注目したり、話を聞こうとしたりすることができたか。 - 交流ゲームや発表などに期待感をもち、友達や教師と一緒に活動しようとすることができたか。

5 単元の評価（授業の評価）★基本の評価のかたち・今回は実践していないので記入なし

- ・単元の評価規準に対する児童生徒の学習状況や達成状況
★
◆
●
- ・単元の学習内容や学習活動はどうだったか
- ・単元の時数や学習集団等
- ・その他（次の単元（題材）や次年度指導する際に参考になることなど）

○ 評価・授業改善等の取り組み方法について考える。

○評価について

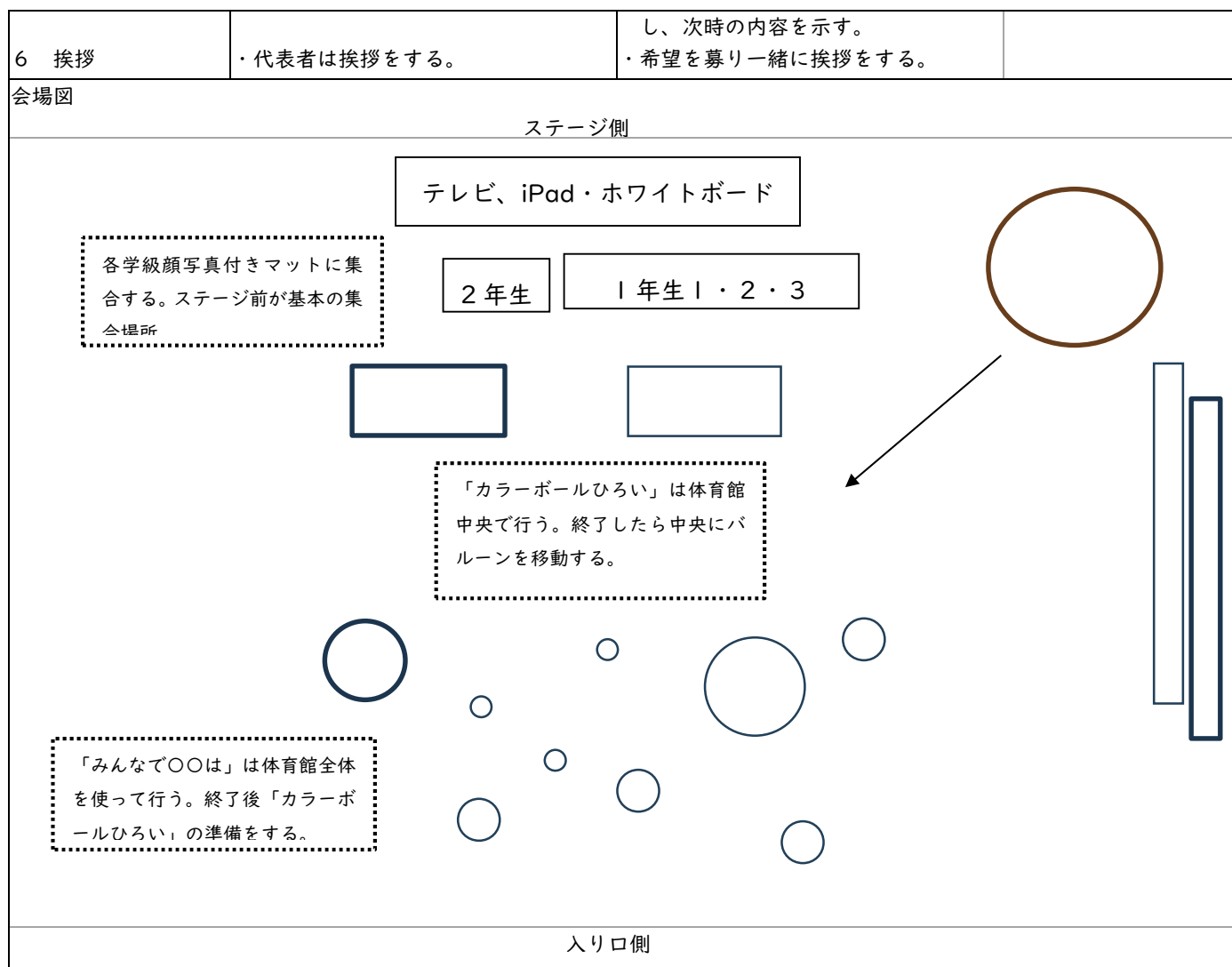
- ・行動観察の記録～授業中に児童がどのように活動に取り組んでいるか（興味・関心の有無、学びへの意欲、活動への参加度など）を観察記録する。
- ・自己評価～簡単なチェックカードや絵カードを使用し、児童自身が「今日頑張ったこと」「できたこと」を振り返る機会を設定。
- ・グループワークやペアワークの中で、他者の話を聞いたり、自分の考えを伝えたりする様子を評価する。
- ・コミュニケーションの工夫、言葉以外の表現（ジェスチャー、絵、カードなど）を活用した場合でも、その意図や伝達の成功度を評価する。
- ・授業の振り返りと共有～教員間での授業記録や実践の成果を共有し改善案を検討する。
- ・アセスメントの活用～児童の学びのプロセスや成果を定期的に評価し、それを基に授業内容を改善する。
- ・タブレットや視覚支援アプリの活用で、学習を深めたり意欲喚起につなげる。
- ・活動内容の柔軟化～評価から得られた課題を基に、児童が参加しやすい方法を工夫する。例えば視覚的支援を増やしたり、体を使った活動を取り入れるなど。
- ・コミュニケーションの支援が必要な児童には、カードや ICT 機器を用いた対話の補助を検討する。
- ・地域資源を活用した実体験を増やすことで、学びを深める取り組みを進める。
- ・継続的な評価と改善を通じて、全体としての教育の質を向上させる。

小学部 1・2 年生 「生活単元学習」指導略案

題 材 名	入学・進級「自己紹介をしよう」		
日 時	4 月〇日（ ）3 校時 10：30～11：20	集 団	小学部 1・2 年生（18 名）
場 所	第 1 プレイルーム	指導者	MT、他 10 名
本時の目標	★知識・技能	・一緒に学習する友達や教師の顔や名前を知る。	
	◆思考・表現・判断力	・名前や好きなことなどを身振りや言葉、イラストなどを用いて発表する。	
	●学びに向かう力・人間性	・自己紹介している友達や先生に注目したり、話を聞いたりする。	
時程・活動項目	学 習 内 容	教師の手立て・動き	備考
10：30 集合	・椅子を持ちプレイルームに集まる。	・集まる場所を色コーン（顔写真）等で示す。	・コーン
1 挨拶	・代表者（各学級の日直・初回なので 2 年生指名）は、前に出て挨拶をする	・代表者を指名し、挨拶を促す。	・顔写真
2 学習内容の確認	・本時の学習内容を知る。	・本時の学習内容をイラストや顔写真などで提示する。	・学習内容と流れの提示物
10：40	○「自己紹介をしよう」		・自己紹介カード
3 自己紹介	・自己紹介を見るとき・聞くときの約束を確認する。 「話している人を見る」 「上手にできたら拍手する」 ・お手本を見て発表の内容と流れを知る。 ・2 年（児童→教師）→1 年（児童→教師）の順に紹介をする。 ・一人ずつ前に出てきて自己紹介する。 ① 名前 ② 〇年生 ③ 好きなもの、得意なこと ④ アピールポイント （頑張りたいこと）	・イラストを用いながら、約束を提示する。 ・視線が向きにくい児童については、個別で言葉がけをする。 ・個別のカードを提示する。（ST） ・指名された ST は返事・名前・好きなもの・礼（「よろしくお願いします」等の言葉）の順で流れを示す。 ・発表の方法については、個々の実態に応じて ST は支援を行う。 ・イラストカードや iPad、スイッチ等の活用については事前に確認・準備をする。 ・①～④を基本の流れとするが、実態に応じて組み合わせは自由とする。 ・具体物等必要な場合は個別に事前の準備をする。 ・TV（iPad）で個々の発表の内容が見やすいように提示する。	（※自己紹介カードについては事前に学級で準備をする。） ・TV、iPad ・約束カード
11：10			・iPad
4 振り返り	・本時を振り返り楽しかったことや頑張ったことを発表する。 ・次回からの学習の流れを確認する。	・iPad に本時の学習内容や活動イラスト、表情カードを提示し選択できるようにする。 ・iPad にカレンダーと学習内容を提示し、次時の内容を示す。	
5 挨拶	・代表者は前に出て挨拶をする。	・希望を募り一緒に挨拶をする。	
会場図			
黒板 テレビ、iPad・ホワイトボード 各学級 2 列で並びます。 並び順は学級ごと、実態に応じて決めてください 2 年生 1 年生 1・2・3			

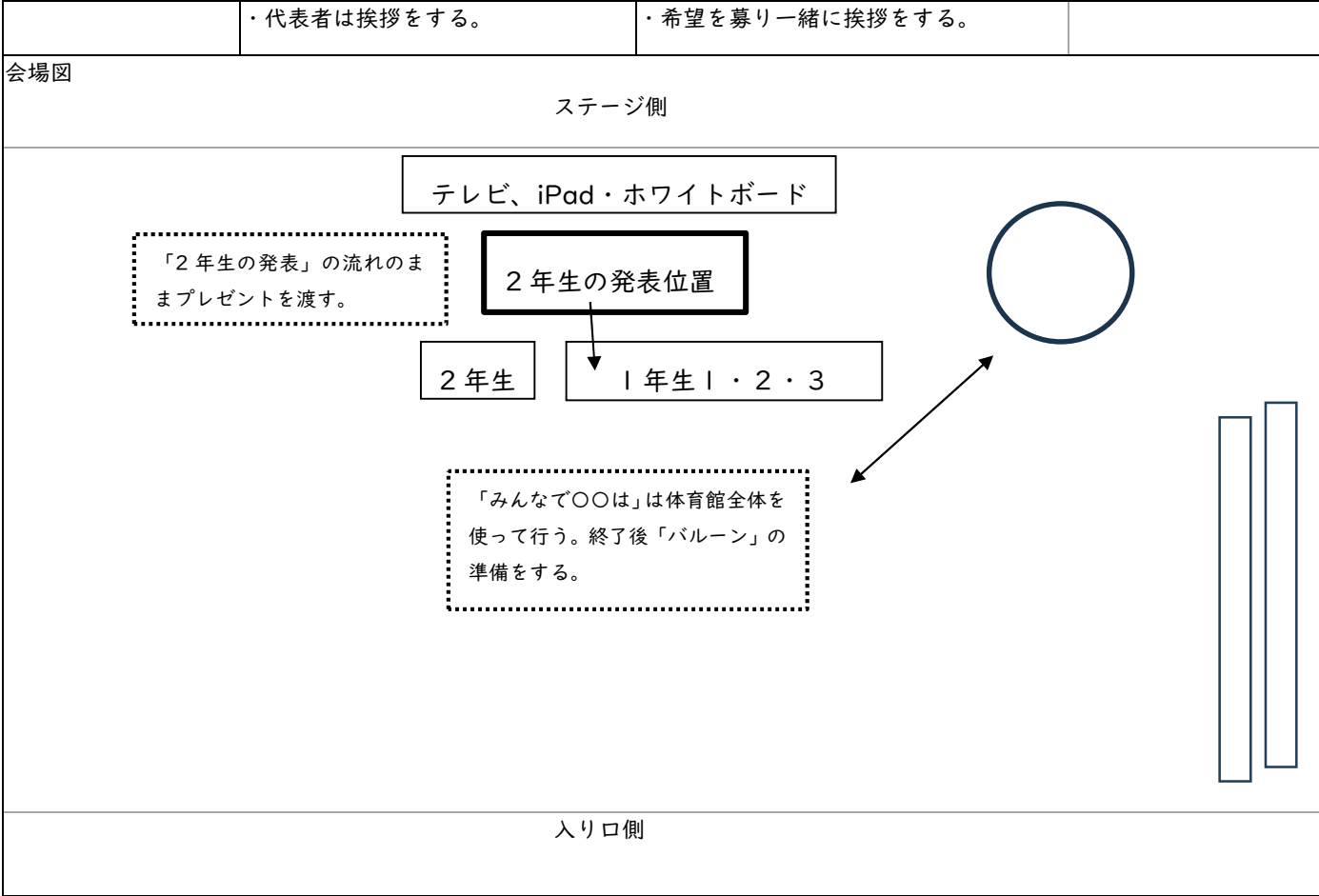
小学部 1・2 年生 「生活単元学習」 指導略案

題 材 名	入学・進級「みんなで交流ゲームをしよう」		
日 時	4 月 0 日 () 3・4 校時 10:30~11:20	集 団	小学部 1・2 年生 18 名
場 所	体育館	指導者	MT、他 10 名
本時の目標	★知識・技能	・ゲームのルールや内容を知る。	
	◆思考・表現・判断力	・友達や教師と一緒にゲームに取り組む。	
	●学びに向かう力・人間性	・ゲームに期待感をもって取り組もうとする	
時程・活動項目	学習内容	教師の手立て・動き	備考
10:30 集合 1 挨拶	・体育館に集まる。	・集まる場所を色コーン（顔写真）等で示す。	・コーン
2 学習内容の確認	・代表者（各学級の日直）は前に出て挨拶をする。 ・本時の学習内容を知る。	・代表者を指名し、挨拶を促す。 ・本時の学習内容をイラストや顔写真などで提示する。	・顔写真 ・学習内容と流れの提示物
10:40 3 「みんなで交流ゲームをしよう」	●「みんなで「○○」 ・説明を聞き、ルールを知る。 ・音や周りの変化に気づく。 ・友達や先生の動きを見て一緒に動く。 ・友達や先生とゲームをしよう。 ①「みんなでこうしん」 ・音がなったら歩き始める。止まったら止まる。 ②「みんなでしゅうごう」 ・ベルが鳴ったら○○のところに集まる。（★友達や先生を指名） ③「みんなでごろーん」 ・リラックスソングを聞きながら、寝転がる、休憩する。 ●「カラーボールひろい」 ・説明を聞き、ルールを知る。 ① 散らばったボールを入れ物の中に全部入れる。 ② 全部入ったらおしまい。 ●「バルーン」 ・手本を見て動きを知る ・みんなでバルーンをもって大きな輪を作る。 ・音楽に合わせて、パラバルーンを動かす。	・イラストを用いたり、演示をしたりしながら、ルールを提示する。 ・視線が向きにくい児童については、個別で言葉がけをする。 ・個別のルールカードを提示する。(ST) ・ゲームの初めに見本を示す。 ・音を効果的に使用したり、視覚的な支援を行ったりして意識できるようにする。 ・ST は、個々の実態に応じて個別の言葉掛け、支援を行う。 ・児童が注目しやすいよう、特徴的な衣装や目印を示す。（個々児童の興味のある物を取り入れる） ・様子を見ながらアトラダムに集合する人や場所を変更する。 ・友達に声をかけたり、手をつないだり活動の中触れ合えるような関りを意識的に設定する。 ・ボールのサイズを変えるなど協力して運ぶ場面を設定する。 ・ゲームクリア音等でおしまいを意識できるようにする。 ・みんなで協力して、集めることができたことを称賛する。 ・一緒に動きを確認する。 主な動き：波（上下）→波（左右）→波（細かく上下）→上に大きく上げる→行進 など（※実態に応じて変更） ・音楽や言葉掛けなどで楽しい雰囲気作りをする。	・音源、ベル、カラーボール、ボールを入れる物、バルーン ・ルールカード ・活動カード 「こうしん」 「しゅうごう」 「ごろーん」
11:20 5 振り返り	・本時を振り返り楽しかったことや頑張ったことを発表する。 ・次回からの学習の流れを確認する。	・iPad に本時の学習内容や活動イラスト、表情カードを提示し選択できるようにする。 ・iPad にカレンダーと学習内容を提示	



小学部 1・2 年生 「生活単元学習」指導略案

題 材 名	入学・進級「お祝い会をしよう」		
日 時	4 月 日（火） 3・4 校時	集 団	小学部 1・2 年生 18 名
場 所	第 1 プレイルーム	指導者	MT、他 10 名
本時の目標	★知識・技能	・これから一緒に学習する仲間を歓迎したりされたりすることを知る。	
	◆思考・表現・判断力	・発表を見て嬉しい気持ちや楽しい気持ちを表現する。（1 年生） ・お祝いの気持ちを込めて、出し物をしたり、言葉掛けをしたりする。（2 年生）	
	●学びに向かう力・人間性	・教師や友達と一緒に活動に取り組もうとする。	
時程・活 動 項 目	学習内容	教師の手立て・動き	備考
10:30 集合 1 あいさつ 2 学習内容の確認	・体育館に集まる。 ・代表者（各学級の日直）は前に出て挨拶をする。 ・本時の学習内容を知る。	・集まる場所を色コーン（顔写真）等で示す。 ・代表者を指名し、挨拶を促す。 ・本時の学習内容をイラストや顔写真などで提示する。	・コーン ・顔写真 ・学習内容と流れの提示物。
10:35 「お祝い会をしよう」 ・友達の発表を見る ・楽しかったことを選んで発表する	・プログラムで流れを知る	・イラストなどを用いながら、祝う会の内容と流れを提示する。 ・個々の実態に応じて、ST は補足説明等個別に支援を行う。	・プログラム
3 2 年生の出し物 10:50 4 一緒にやろう 「みんなで〇〇」	・2 年生は前に出て、ダンスや歌を披露する。 ・プレゼントを渡す。 1 年生は座ったまま 2 年生から、プレゼントを受け取る。 ・説明を聞き、ルールを確認する。 ①「みんなでこうしん」 ・音がなったら歩き始める。止まったら止まる。 ②「みんなでしゅうごう」 ・ベルが鳴ったら〇〇のところに集まる。（★友達や先生を指名）	・発表場所を壁側・ステージ上などにして注目できるようにする。 ・プレゼントのやり取りの場面では、ST は個々の実態に応じた支援を行う。 ・ゲームの初めに見本、ルールの確認。 ・音を効果的に使用したり、視覚的な支援を行ったりして意識できるようにする。 ・ST は、個々の実態に応じて個別の言葉掛け、支援を行う。 ・児童が注目しやすいよう、特徴的な衣装や目印を示す。 ・様子を見ながらアトラダムに集合する人や場所を変更する。 ・友達に声をかけたり、手をつないだり活動の中触れ合えるような関りを意識的に設定する。	・2 年生の発表については学級生単の中で練習する。 ・衣装や楽器など ・入学おめでとうカード（メダル） ・音源、ベル、バルーン ・ルールカード ・活動カード 「こうしん」 「しゅうごう」
11:05 5 みんなで楽しもう 「バルーン」	・手本を見て動きを知る ・みんなでバルーンをもって大きな輪を作る。 ・音楽に合わせて、パラバルーンを動かす。	・一緒に動き（下記の動き）を確認する。 主な動き：波（上下）→波（左右）→波（細かく上下）→上に大きく上げる→行進 など（※実態に応じて変更あり） ・音楽や言葉掛けなどで楽しい雰囲気作りをする。	
11:20 5 振り返り 6 挨拶	・写真を見て今日のお祝い会を振り返る。 ・本時を振り返り楽しかったことや頑張ったことを発表する。 ・次回からの学習の内容を確認する。	・スライドで写真を提示し本時の行った活動の振り返りにつなげる。 ・iPad に本時の学習内容や活動イラスト、表情カードを提示し選択できるようにする。 ・iPad にカレンダーと学習内容を提示し、次時の内容を示す。	・TV ・iPad



「音楽」単元指導計画

学年	小学部４・５年生	単元名	「あきのうた」					
児童 実 態	・歌唱については、伴奏に合わせて歌う児童は、少数である。 ・器楽については、楽器を鳴らすことには意欲的であるが、提示されたリズムを意識して楽器を鳴らす経験が少ない。 ・身体表現については、音楽に合わせて自分なりに身体で表現することには意欲的に取り組めるが、提示された表現を模倣することができる児童は少ない。 ・鑑賞については、ほとんどの児童が集中して音楽を鑑賞することができる。							
単 元 目 標	・楽曲の特徴（カノン形式）について知る。（歌唱） ・四分休符記号の名称や意味を知り、提示された絵譜通りに演奏することができる。（器楽） ・秋の様子を感じ取って聴くことができる。（鑑賞） （知識及び技能） ・秋の様子や楽曲の特徴を感じ取って歌うことができる。（歌唱） ・楽器に親しみ演奏することができる。（器楽） ・パイナップルの形を模倣して、自分なりに表現する。（身体表現） （思考力、判断力、表現力等） ・音楽活動をする楽しさを感じ、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする。 （学びに向かう力、人間力等）							
評 価 基 準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	・楽曲の特徴（カノン形式）について気づくことができる。（歌唱） ・四分休符記号の名称や意味を理解できる。（器楽） ・提示された絵譜通りに演奏することができる。（器楽） ・提示された色を秋の様子（風景）の写真から見つけることができる。（鑑賞）		・秋の様子感じながら、歌うことができる。（歌唱） ・カノン形式を理解して歌うことができる。（歌唱） ・楽器に親しみ演奏することができる。（器楽） ・パイナップルの形を模倣して、自分なりに表現することができる。（身体表現）		・音楽活動をする楽しさを感じ、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしているか。			
単 元 計 画	月日	題材名	○主な学習内容 ※指導上の配慮			知	思	態
	8／27	あきのうた	(歌) ありがとうの花 (器) パイナップルの里 (身) この地へ (鑑) 虫のこえ			○	○	○
	9／3	あきのうた	(歌) ありがとうの花 (器) パイナップルの里 (身) この地へ (鑑) 村祭り			○	○	○
	9／17	あきのうた	(歌) ありがとうの花 (器) パイナップルの里 (身) この地へ (鑑) うさぎ・兎のダンス			○	○	○
	9／24	あきのうた	(歌) うさぎ・兎のダンス (器) パイナップルの里 (身) この地へ (鑑) とんぼのめがね			○	○	○
	10／8	あきのうた	(歌) とんぼのめがね (器) パイナップルの里 (身) この地へ (鑑) あのね、あきはね			○	○	○
	10／15	あきのうた	(歌) あのね、あきはね (器) パイナップルの里 (身) パッパパイナップル (鑑) 紅葉			○	○	○
	10／22	あきのうた	(歌) あのね、あきはね (器) パイナップルの里 (身) パッパパイナップル (鑑) 紅葉			○	○	○

	11／ 5	あきのうた	(歌)紅葉 (器) パイナップルの里 (身) パッパパイナップル (鑑)紅葉	○	○	○
	11／12	あきのうた	(歌)紅葉 (器) パイナップルの里 (身) パッパパイナップル (鑑)紅葉	○	○	○
	11／19	あきのうた	(歌)紅葉 (器) パイナップルの里 (身) パッパパイナップル (鑑)紅葉	○	○	○
	11／26	あきのうた	(歌)紅葉 (器) パイナップルの里 (身) パッパパイナップル (鑑)紅葉	○	○	○
各教科・自立活動 との関連		人間関係の形成 3－(1)(4) 身体の動き 5－(5) コミュニケーション 6－(1)				

(必ずA 4一枚に収めること！)

小学部 高学年（４・５学年）ブロック 音楽 学習指導略案

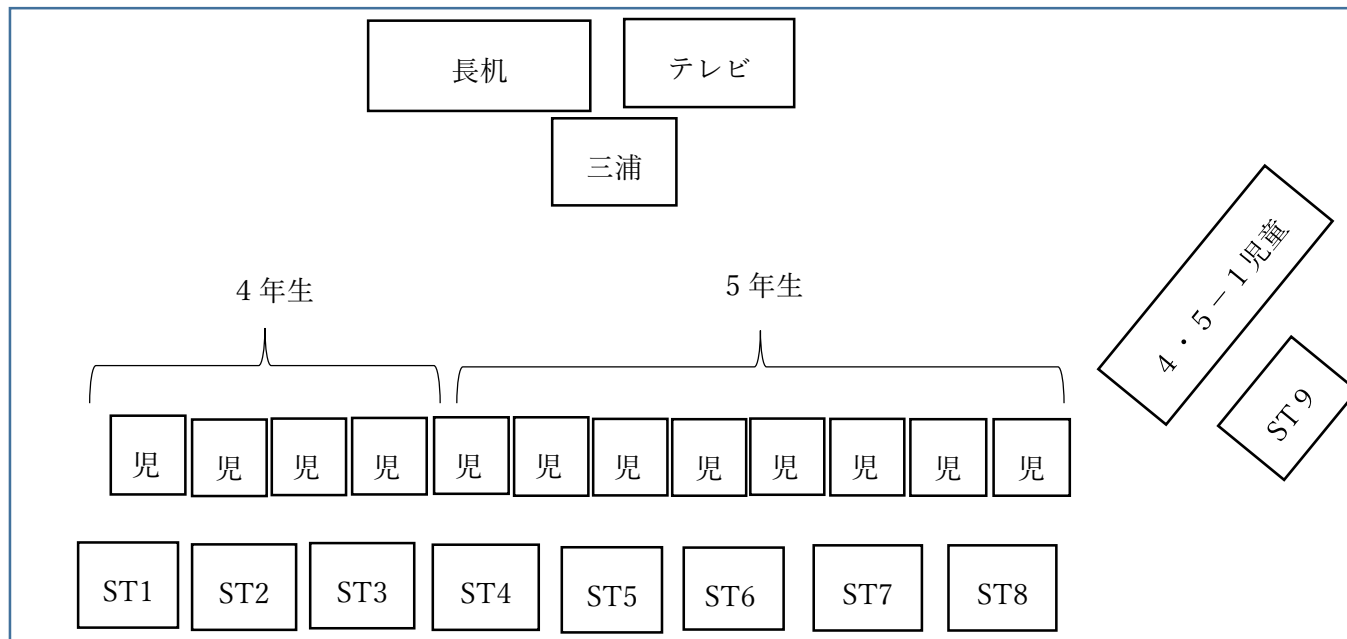
単元名	あきのうた		題材名	歌唱・・・紅葉 器楽・・・パイナップルの里 身体表現・・・パッパパイナップル 鑑賞・・・紅葉		
日時	R6年11月26日（火） 3・4校時				場所	小ワークスペース 4-1教室
集団	高プロ（小4・5年計14名）重複含む	時数	22	担当者	三浦・吉田	
単元の目標	・楽曲の特徴（カノン形式）について知る。（歌唱） ・四分休符記号の名称や意味を知り、提示された絵譜通りに演奏することができる。（器楽） ・秋の様子を感じ取って聴くことができる。（鑑賞）（知識及び技能） ・秋の様子や楽曲の特徴を感じ取って歌うことができる。（歌唱） ・楽器に親しみ演奏することができる。（器楽） ・パイナップルの形を模倣して、自分なりに表現する。（身体表現）（思考力、判断力、表現力等） ・音楽活動をする楽しさを感じ、音楽経験を生かして生活を楽しめるものにしようとする。（学びに向かう力、人間力等）			題材の目標	・紅葉（歌唱）・・・カノン形式の面白さを味わいながら歌うことができる。 ・パイナップルの里（器楽）・・・（Aグループ）四分休符記号の名称や意味を知り、提示された絵譜通りに演奏することができる。（Bグループ）楽器に親しみ演奏することができる。 ・パッパパイナップル（身体表現）・・・パイナップルの形を模倣して、自分なりに表現することができる。 ・紅葉（鑑賞）・・・秋の様子を感じ取って聴くことができる。	
時程	学習項目	児童生徒の活動内容		評価規準 (知)(思)(学)	指導の(主体的・対話的)視点	
導入 10:40	○集合 ○あいさつ ○はじまりのうた ○学習内容の説明	・準備の間「秋の童謡・唱歌メドレー」等の曲を聴く。 ・指名された児童が前に出て、挨拶をする。 ・はじまりの歌「じゅんぴはいいかな」を歌ったり手振りを模倣したりする。 ・本時の学習について、教師の説明を聞き、見通しを持つ。		○学習の内容を理解する。（知） ○学習が始まる期待感を持ち取り組んでいる。（学） ○教師の説明を聞くことができる。（知・学）	【学習に必要感を持たせる工夫】 ・学習はiPad、PCを使用し展開する。 ・それぞれの児童が取り組みそうな動きを促す。	
展開 10:50 11:00	○鑑賞 ○歌唱	・「紅葉」を聴く。 ① 今日のめあてを知る。「季節を感じて聴こう」 ② 写真を見ながら秋の様子を確認して鑑賞する。 ・「ありがとうの花」「紅葉」～MTや動画を模倣して表現する。 ① 「ありがとうの花」を姿勢に気をつけて歌ったり手振りで表現したりする。 ② 「紅葉」の歌詞を確認する。 ③ 今日のめあてを知る。「紅葉の特徴を知る」		○提示された色を秋の様子（風景）の写真から見つけることができる（知・思） ○姿勢に気をつけて歌ったり手振りで表現したりできる（知・思） ○楽曲の特徴（カノ	【できるために関わりを持たせる工夫】 ・クイズ形式で秋の样子の理解を促す。 ・動画を見て鑑賞する。 ・児童の理解度を確認しながら進める。 ・それぞれの児童が取り組みそうな動きを促す。 ・クイズ形式で紅葉がカノン形式	

11:10	○身体表現	カノン形式について知る。 ・三浦と高橋先生の範唱を聴く。 ④ カノン形式で歌う。 教師 1 人（最初）対児童（追いかける） ・「パッパパイナップル」 ① 今日のめあてを知る。 「パイナップルになりきろう」 ② パイナップルになりきる練習をする ※数名児童は、衣装を着て発表する。 ③ 椅子を移動して、踊る準備をする。 ④ 1 曲通して演奏する。	ン形式）について気づくことができる。 (知・思) ○カノン形式を理解して歌うことができる。(思) ○パイナップルの形を模倣して、自分なりに表現することができる。(思) ○楽曲のリズムに合わせて身体を動かしたり、提示されたリズムを模倣したりすることができる。 (思)	(おいかけっこ)であることの理解を促す。 ・ST は児童と一緒に歌う。 ・衣装を用意して、パイナップルをよりイメージできるよう、また主体的に踊るきっかけになるようにする。 ・児童が主体的に表現できるように配慮して支援する。
11:20	教室移動	Aグループは、椅子を持って4-1 教室へ移動する。		
11:25	○器楽【和太鼓・パーランク】	(Aグループ) MT三浦 ① 今日のめあてを知る。 「リズムにあわせよう」 ② 休符記号について確認し、絵譜を見ながら演奏する。 「前奏～さびまで」「さび～最後まで」に分けて練習する。 ③ 1 曲通して演奏する。 (Bグループ) MT吉田 ① 今日のめあてを知る。 「たのしくえんそうしよう」 ② リズムについて簡単に説明する。(復習) ③ 1 曲通して演奏する。(2回)	・四分休符記号の名称や意味を理解できる。(知) ・提示された絵譜通りに演奏することができる。(思) ・楽器に親しみ演奏することができる。(思)	・絵譜の使用し、楽器を鳴らすタイミングを理解しやすくする。 ・動画とMTの演示両方を提示する。 ・児童が主体的に表現できるように配慮して支援する。
まとめ 11:35	○振り返り/次回の予定	・楽しかった活動を選択し、数名が発表する。	・学習を振り返って、自分なりの方法で感想などを発表できる。(学)	【次の学習につなげる工夫】 ・本時の学習を振り返り、次回の活動に見通しをもたせる。
11:40	・おわりの歌 ○おわりの挨拶	・「おしまいだけど」歌詞を歌ったり手話で模倣したりする。 ・指名された児童が前に出て、挨拶をする。	・学習が終わることに気づいたり、理解したりして取り組んでいる。(学)	
教材・教具		全体提示 (PC、TV2台)、パーランク、タンブリン、ホワイトボード、絵譜		

※それぞれのグループで授業を終了する。

○配置図（小ワークスペース）

※ダンスのときは椅子を後ろの壁側までさげるようにお願いします。各児童の椅子の持参をお願いします！



器楽グループ学習のグループ分け

【Aグループ】MT三浦 ST2名

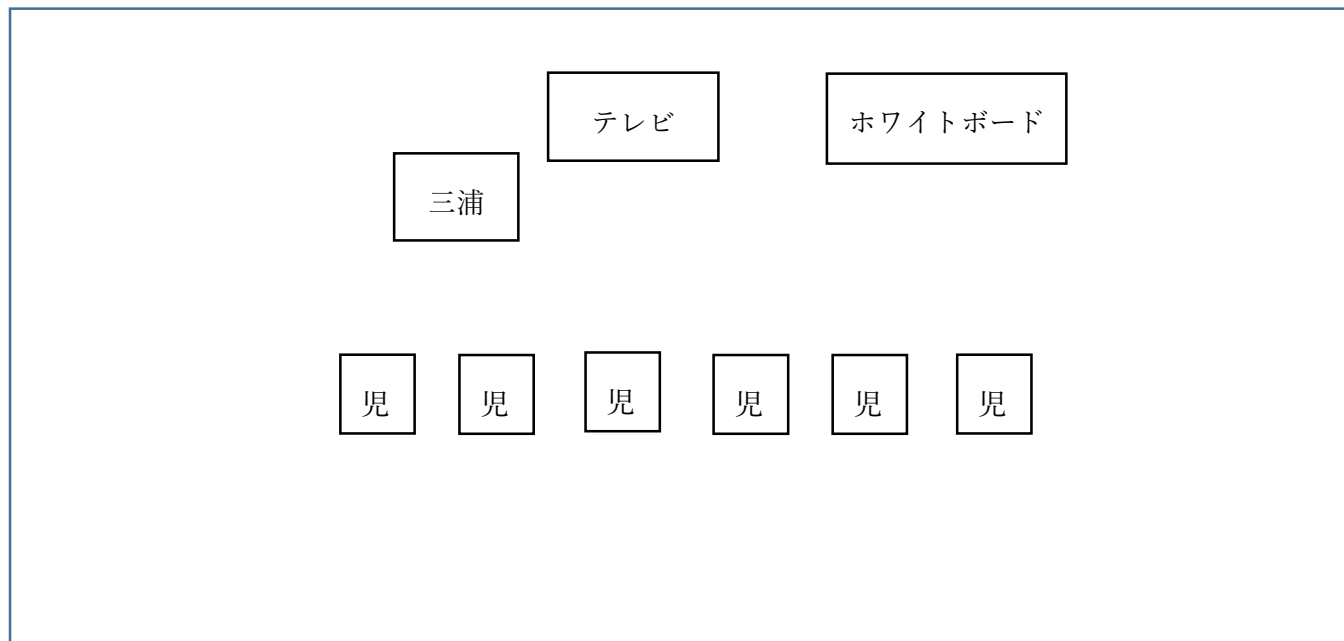
4-1教室・・・児童6名

【Bグループ】MT1名 ST7名

ワークスペース・・・児童8名

○実態別学習

Aグループ



11／26（火）研究授業

題材の目標	児童の様子
【歌唱】紅葉・・・カノン形式の面白さを味わいながら歌うことができる。	・今日のめあて「紅葉の特徴は？」の発問に対し、「おいかけっこ」（カノン形式のこと）と発表した児童がいた。 ・「授業者」対「児童と支援者」の形で、紅葉を歌ったとき、授業者の後から追いかけて歌うことができていた。歌った後に児童から拍手が起こり、達成感を得られた様子が伺えた。
【器楽】パイナップルの里・・・（Ａグループ）四分休符記号の名称や意味を知り、提示された絵譜通りに演奏することができる。	・授業者の発問に対し、四分休符の名称や意味を発表できた児童がいた。提示した絵譜を確認してから演奏することで、６人中４人は、正しいリズムで演奏できた。他２名は、リズムは正しいが、速さを保つことができなかった。
【身体表現】パイナップルの形を模倣して、自分なりに表現することができる。	・楽曲に合わせて模倣をしようとしていたが、模倣している形がパイナップルの形であることを理解して表現している児童は少なかった。（指導グループでの反省から）
【鑑賞】紅葉・・・秋の様子を感じ取って聴くことができる。	・テレビに映る写真を見ながら静かに楽曲を聴いていたことから、秋の様子を感じ取ろうとしている様子が伺えた。

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」課題設定シート

学校名	北海道帯広養護学校	氏名	作山 香名恵
-----	-----------	----	--------

○ 自身の授業改善の計画

①講義を通して気付いた授業改善に向けての課題（自身が今後取り組みたいことに焦点化して記載）

特別活動〈話し合い活動〉

課題 どうしても、理解力が高く、発語のある児童が学習のメインになってしまう。話し合いを通して全員が楽しめる活動を考えるにはどのような手立てができるか。

②自身の授業改善の計画（授業改善の方策及び第Ⅱ期の実践発表の計画を検討）

学級の児童の実態 小学部4年生 全員知的障害を伴う(中度～重度)

そのうち遺伝子変異による肢体不自由1名 自閉スペクトラム症3名

主に言葉でコミュニケーションがとれる 3名(具体物や絵カードがあるとより理解しやすい)

1学期 週一回の学級活動の時間に様々なゲームに取り組んだ。

・黒髭危機一髪 ・バランスゲーム ・すごろく ・宝探し ・爆弾ゲーム

実態や興味関心を考慮し、様々なゲームに取り組んだ。勝ち負けへのこだわりや、興味関心の薄さ、ルールを理解度など様々な実態の中、それぞれのゲームを一通り体験し、写真カードと結びつけた。

2学期 同じく学級活動の時間にゲームに取り組んだ。全てのゲームを復習した後の授業で、選択肢を提示した。選択肢は1回の授業で3つに絞ることで選びやすくする。言葉でコミュニケーションがとれる児童には言葉で、難しい児童には指さしで選択するようにした。その時間の児童の状況(気持ちの不安定さなど)にもよるが、多数決で決定し、そのゲームを行った。

児童には希望を伝えることで、それが叶う経験、友達の意見を聞きゆずる経験、気持ちに整理を付ける経験をさせた。

まとめ 知的障害や自閉的傾向があっても、自分で選択する場面は必要であり、興味関心の幅を広げることにもつながった。明確な話し合いが難しくても、間に教師が入ることで、「今回はこれにしよう、次回は好きなものにしたい」という気持ちが少しずつ芽生えてくる様子が見られた。今後も興味関心の幅を広げたり、話し合い活動の経験を増やしていき、高学年へ引き継いでいきたい。

No	1		2		3	
単元名	やってみよう！		もっとやってみよう！			
題材名						
期間	4月～9月		10月～3月			
指導内容	生活 a小1_知技	集団の中での役割に関心をもつこと。	生活 a小1_知技	集団の中での役割に関心をもつこと。	教科を選択	
	国語 b小1_思判表	教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。	国語 b小1_思判表	教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。	教科を選択	
	算数・数学 c小1_知技	具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。	算数・数学 c小1_知技	具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。	教科を選択	
	生活 a小2_知技	簡単なきまりのある遊びについて知ること。	生活 a小2_知技	簡単なきまりのある遊びについて知ること。	教科を選択	
単元の目標	グループの友達と一緒に、話し合いをしたり、ゲームをしたりすることができる。		グループの友達と一緒に、話し合いをしたり、ゲームをしたりすることができる。 グループの教師や友達と一緒に、お楽しみ会の計画を立てることができる。			
単元の学習内容	グループレクリエーションの計画。		グループレクリエーションの計画。			
	グループレクリエーションの実施。		グループレクリエーションの実施。			
	話し合い活動。		話し合い活動。			
	係活動。		係活動。			
時数						
担当	作山・河邊		作山・河邊			

No	4		5		6	
単元名						
題材名						
期間						
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
単元の目標						
単元の学習内容						
時数						
担当						

No	7		8		9	
単元名						
題材名						
期間						
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
単元の目標						
単元の学習内容						
時数						
担当						

No	10		11		12	
単元名						
題材名						
期間						
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
単元の目標						
単元の学習内容						
時数						
担当						

No	13		14		15	
単元名						
題材名						
期間						
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
指導内容	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
	教科を選択		教科を選択		教科を選択	
単元の目標						
単元の学習内容						
時数						
担当						

「学級活動」学習指導略案

授業名	学級活動「みんなでえらんだゲームをしよう」	場 所	4－1教室
日 時	令和6年9月20日(金) 12:50～13:35	担当	作山、河邊
本時の指導内容		本時の目標	
○友達と一緒に活動に取り組む。 ○集団行動の決まりや約束を意識して守ろうとする。		○ゲーム友達と関わるができる。 ○ルールなどを意識して活動することができる。	
時 間	学習項目・学習内容・児童・生徒の活動	指導上の留意点	
12:50	1 はじめのあいさつ ・教師の合図を受けて、始めのあいさつをする。 ・号令に合わせてそれぞれの方法で挨拶をする。	□TV、パワーポイント ・あいさつの発声や動作を促すなど、児童に合わせて行う。	
12:51	2 せんせいのはなし ・教師の説明を聞き、これからグループ全員でゲームをすることを知る。	・必要に応じてTV画面を指差ししながら、活動内容を説明する。 ・見通しがもてるようTV画面に注目させ、必要に応じて補足説明などをする。	
12:55	3 えらぼう ・TV画面をみて、どんなゲームがあるか知る。 ○すごろく ○宝探し ○爆弾ゲーム ・以前学習したときの写真を見て、振り返り、本時はどのゲームをしたいか選ぶ。	・必要に応じてゲーム内容の補足説明を行う。 ・以前ゲームしたときの写真を提示し、内容を思い出すきっかけとする。 ・選択の方法は児童の実態に応じて、言葉で話す、TV画面を指さして選ぶ、手元のタブレット画面を指さして選ぶなどする。	
13:05	4 あそぼう ・ルールの確認を聞く。 ・全員の意見を聞き、希望の多かったゲームを行う。	・遊んでいる姿を写真に撮影し、振り返りの活動で使えるようにする。	
13:25	5 ふりかえり ・本時のゲームの写真をみて、振り返る。	・TV画面に注目するように促す。	
13:30	6 つぎのじかんは？ ・次時の学習内容を知る。 ・今回希望した児童がいたが、行わなかったゲームを優先的に行うことを知る。	・次時は、今回行われなかったゲームをすることを、ゲームの写真を提示しながら、伝える。	
13:35	7 あいさつ ・教師の合図を受けて、終わりのあいさつ	・あいさつの発声や動作を促すなど、児童に合わせて	

	を行う。 ・号令にあわせて、それぞれの方法であい さつを行う。	行う。
授業反省		改善点
授業者が記入 ○教材教具 ○本時の目標 ○授業の流れ ○その他		※反省を受けて改善点があれば記入。次の授業に生かせる場合次時の略案に改善 する点を☆マークで記入する。

日常生活の指導（合わせた指導） 全体計画

学校教育目標
・社会参加・自立を目指し、生き生きと活動する児童・生徒を育てる ・カッコいい大人になる。

日常生活の指導（本校のおさえ）
日常生活や社会生活において、習慣的に繰り返される、必要で基本的な内容を学習する。

目標（身に付けたい力）
① 日常生活や身辺処理に関わる基本的な知識・技能を身に付ける。【知・技】 ② 自分自身や身近な人との関わりについて考えたり表現したりする力を身に付ける。【思・判・表】 ③ 自立的・発展的に生活するための意欲や態度を身に付ける【学・人間】

各学年・学部重点目標		
小学部(1段階)	小学部(2段階)	小学部(3段階)
簡単な身辺処理や身の回りのことを先生と一緒にやってみよう	必要な身辺処理が分かり、身近な人に関わりながら生活しよう	自分のことに自分から取り組み、意欲を持って生活しよう
中学部(1段階)	中学部(2段階)	
働くことに関心を持ち、自立して生活するための力を身に付けよう	働く事への関心を高め、よりよい生活をするための力を身に付けよう	

あわせる教科	
小学部	中学部
生活科、国語科、特別の教科道徳	職業家庭科、国語科、特別の教科道徳、

主な内容		
時間	項目(小学部学習指導要領)	項目(中学部学習指導要領)
登校後	生活科(ア基本的生活習慣、ウ日課・予定、オ人との関わり、カ役割、ク生命・自然)) 国語科(思考・判断・表現 A 話すこと・聞くこと) 道徳科(主として自分自身に関わること、主として人との関わりに関すること、主として集団や社会との関わりに関すること、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)	職業・家庭科(A 職業生活(イ)、B 衣食住の生活ア) 家 B ウ衣服の着用と手入れ) 国語科(思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと オ) 道徳科(主として自分自身に関わること、主として人との関わりに関すること、主として集団や社会との関わりに関すること、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)
昼	生活科(ア基本的生活習慣、オ人との関わり、キ手伝い・仕事) 国語科(思考・判断・表現 A 話すこと・聞くこと) 道徳科(同上)	職業・家庭科(家 B ア食事の役割、家 A ウ家庭生活における余暇) 国語科(思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと オ) 道徳科(同上)
下校前	生活科(ア基本的生活習慣、オ人との関わり、キ手伝い・仕事) 国語科(思考・判断・表現 A 話すこと・聞くこと) 道徳科(同上)	職業・家庭科(職 A イ職業、家 A ア自分の成長と家族) 国語科(思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと ウ) 道徳科(同上)

※各段階の内容は別紙参照

日常生活の指導 各段階の指導内容について(小学部)

			1段階(低学年)	2段階(中学年)	3段階(高学年)
	教科	項目	主な内容	主な内容	主な内容
登校後	生活科	ア基本的生活習慣	【身の回りの整理】 □決められた場所に置くなどの整理をする 【身なり】 □簡単な衣服の着脱 【用便】(一日を通して) □用便の手順に気付く □尿意・便意を伝えようとする	【身の回りの整理】 □ハンガーにかけるなど、収納場所や収納方法がわかる。 【身なり】 □衣服の前後や裏表がわかる 【用便】(一日を通して) □用便の手順がわかる	【身の回りの整理】 □靴や衣服の整理など、整理整頓を行おうとする。 【身なり】 □袖口や襟元、すそを整えるなど、身だしなみを整えようとする 【用便】(一日を通して) □一人で用を足す
		ウ日課・予定	【日課】 □簡単な日課に気付いたり、行動したりする。	【日課】 □絵や写真カードを見て、身近な予定がわかる。(一日の予定等)	【日課】 □カレンダーや予定表を見て、一週間程度の予定がわかる。
		オ人との関わり	【自分自身と家族】 □自分の名前を呼ばれて返答する。 【身近な人との関わり】 □お辞儀、手を振る、握手などで挨拶をする。	【身近な人との関わり】 □自分から朝の挨拶をする。	【身近な人との関わり】 □身近な出来事を教師や友達と話す。
		カ役割	【集団の参加や集団内での役割】 □集団の中で活動することに慣れる。	【集団の参加や集団内での役割】 □集団の中で簡単な係活動を果たす。	【集団の参加や集団内での役割】 □活動の見通しを持って、自分の役割を果たす。
		サ生命・自然	【季節の変化と生活】 □天候の変化に気付く。	【季節の変化と生活】 □寒い暑いなどの季節の特徴に関心をもつ。	【季節の変化と生活】 □四季の変化に関心をもつ。
	国語科	聞くこと話すこと	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 □教師の話に応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりする	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 □身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりする。	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 □教師の話などを通して、話の大体を聞き取ること。
		道徳科 道徳全体計画より	(1)挨拶など、基本的な生活習慣を身につける。 (2)友達と仲良く生活する。 (3)みんなが使う物を大切にする。 (4)身近な自然に親しむ。	(1)自分でできることは自分で行う。 (2)友達を思いやり、助け合う。 (3)約束や決まりを守り、みんなで協力し合って生活する。 (4)自然や動植物に優しい心で接する。	(1)目標に向かって、やり抜こうとする。 (2)相手のことを思いやり、進んで親切にする。 (3)働くことのよさを知り、進んでみんなのために働く。 (4)生命あるものを大切にする。

			1段階（低学年）	2段階（中学年）	3段階（高学年）
	教科	項目	主な内容	主な内容	主な内容
昼	生活科	ア 基本的 生活習慣	【身なり】 ☐ 簡単な衣服の着脱（エプロン等） 【食事】 ☐ 食事の一連の流れや行動の方法に気付く。（手洗い、食事、片付け） 【清潔】 ☐ 歯磨きをする ☐ タオルで拭こうとする	【身なり】 ☐ 衣服の前後や裏表がわかる。 【食事】 ☐ 食事のマナーや態度が分かる。 【清潔】 同左	【身なり】 ☐ 身だしなみを整えようとする。 【食事】 ☐ 一人で食事をする。 ☐ 準備や片付けを友達と協力してできる 【清潔】 同左
		オ 人との 関わり	【身近な人との関わり】 ☐ 挨拶をする ☐ 多様な方法で、コミュニケーションをとろうとする。	同左	同左
		キ 手伝い 仕事	【手伝い】 ☐ 教師と一緒に簡単な手伝いをする。	【手伝い】 ☐ 自分から簡単な手伝いをする。	【手伝い】 ☐ 物を大切に扱いながら、安全に手伝いをする。
	国語科	聞くこと 話すこと	【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと イ】 ☐ 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりする。	【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと イ】 ☐ 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。	
	道徳科	道徳全体 計画より	(1) 挨拶など、基本的な生活習慣を身につける。 (2) 友達と仲良く生活する。 (3) みんなが使う物を大切に使う。 (4) 身近な自然に親しむ。	(1) 自分でできることは自分で行う。 (2) 友達を思いやり、助け合う。 (3) 約束や決まりを守り、みんなで協力し合って生活する。 (4) 自然や動植物に優しい心で接する。	(1) 目標に向かって、やり抜こうとする。 (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。 (3) 働くことのよさを知り、進んでみんなのために働く。 (4) 生命あるものを大切に使う。

			1段階（低学年）	2段階（中学年）	3段階（高学年）
	教科	項目	主な内容	主な内容	主な内容
下 校 前	生 活 科	ア基本的 生活習慣	【身なり】 □簡単な衣服の着	【身なり】 □衣服の前後や裏表がわかる	【身なり】 □袖口や襟元、すそを整えるなど、身だしなみを整えようとする
		ウ日課・ 予定	【日課】 □簡単な日課に気付いたり、行動したりする。	【日課】 □絵や写真カードを見て、身近な予定がわかる。（帰り方、明日の予定等）	【日課】 □カレンダーや予定表を見て、一週間程度の予定がわかる。
		オ人との 関わり	【身近な人との関わり】 □お辞儀、手を振る、握手などで挨拶をする。	【身近な人との関わり】 □自分から帰りの挨拶をする。	【身近な人との関わり】 □身近な出来事を教師や友達と話す。（振り返り等）
		カ役割	【集団の参加や集団内での役割】 □集団の中で活動することに慣れる。	【集団の参加や集団内での役割】 □集団の中で簡単な係活動を果たす。	【集団の参加や集団内での役割】 □活動の見通しを持って、自分の役割を果たす。
		キ手伝 い・仕事	【整理整頓】 □自分のかばんに荷物を入れる。	【整理整頓】 □自分から机やロッカーを整理する。	【整理整頓】 □学級の備品を整理する。
	国語 科	聞くこと・ 話すこと	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すことウ】 □伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表す。	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すことウ】 □体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すことウ】 □経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えること。
	道徳 科	道徳全体 計画より	(1)挨拶など、基本的な生活習慣を身につける。 (2)友達と仲良く生活する。 (3)みんなが使う物を大切にする。 (4)身近な自然に親しむ。	(1)自分でできることは自分で行う。 (2)友達を思いやり、助け合う。 (3)約束や決まりを守り、みんなで協力し合って生活する。 (4)自然や動植物に優しい心で接する。	(1)目標に向かって、やり抜こうとする。 (2)相手のことを思いやり、進んで親切にする。 (3)働くことのよさを知り、進んでみんなのために働く。 (4)生命あるものを大切にする。

日常生活の指導 各段階の指導内容について(中学部)

					Ⅰ段階	Ⅱ段階
	教科	項目	内容		主な内容	主な内容
登校後	職業家庭科	職業分野	A 職業生活	(イ)ーウ	□自分の健康状態に気付く。	
		家庭分野	B 衣食住の生活	ア	□ノート等の提出 □衣服の着脱	
	国語科	聞くこと 話すこと			【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと オ】 □相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつこと。	
	道徳科	道徳全体 計画より			(1) 自分で考え、判断し、責任のある行動をとる。 (2) 真心をもって人と接し、自分と異なる意見も大切にする。 (3) 働くことの大切さを知り、集団の中で自分の役割を自覚する。 (4) 生命の偉大さを知り、自然環境を大切にする。	

					Ⅰ段階	Ⅱ段階
	教科	項目	内容		主な内容	主な内容
昼	職業 家庭 科	職業分野	A 職業生活	イ	☐ 余暇を有意義に過ごす。 ☐ 自分の健康状態に気付く。 ☐ 行事等に配慮する。	
			B 情報機器の活用	ア	☐ インターネットや音楽プレーヤーの安全な使い方を知る。	
		家庭分野	A 家族・家庭生活	ウー(ア)	☐ 他者との食事や余暇を楽しむ。	
			B 衣食住の生活	ア	☐ 適切な量の食事を楽しくとること大切さに気付き、それらを他者に伝えること。 ☐ ごみの分別 ☐ 洗濯 ☐ 好き嫌いをなく食べる。	
	国語 科	聞くこと 話すこと			【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと オ】 ☐ 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合う。	
	道徳 科	道徳全体 計画より			(1) 自分で考え、判断し、責任のある行動をとる。 (2) 真心をもって人と接し、自分と異なる意見も大切にする。 (3) 働くことの大切さを知り、集団の中で自分の役割を自覚する。 (4) 生命の偉大さを知り、自然環境を大切にする。	

					Ⅰ段階	Ⅱ段階
	教科	項目	内容		主な内容	主な内容
下 校 前	職 業 家 庭 科	職業分野	A 職業生活	ア	【(ウ) 作業や実習等で達成感を得ること】 ☐ 自分の変化に気付くこと。 ☐ 周囲の人の評価や感想を聞く。	
		家庭分野	B 衣食住の生活	ア	☐ 配布物をかばんに入れる。 ☐ 身の回り、棚や机の整理。	
	国 語 科	聞くこと 話すこと			【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと ウ】 ☐ 見聞きしたことや体験したこと、自分の意見などについて内容の大体が伝わるように伝える 順序等を考える。	
	道 徳 科	道徳全体 計画より			(1) 自分で考え、判断し、責任のある行動をとる。 (2) 真心をもって人と接し、自分と異なる意見も大切にする。 (3) 働くことの大切さを知り、集団の中で自分の役割を自覚する。 (4) 生命の偉大さを知り、自然環境を大切にする。	

日常生活の指導を考える



日常生活の指導とは

児童生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動について、知的障害の状態、生活年齢、学習状況や経験等を踏まえながら計画的に指導するもの。



日常生活の指導とは

基本的生活習慣の内容

（衣服の着脱、洗面、手洗い、排泄、食事、清潔など）



日常生活や社会生活において必要で基本的な内容

（挨拶、言葉遣い、礼儀作法、時間や決まりを守ることなど）



※特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 p31

本校における日常生活の指導

日常生活の指導（本校のおさえ）		
日常生活や社会生活において、習慣的に繰り返される、必要で基本的な内容を学習する。		
目標（身に付けたい力）		
① 日常生活や身辺処理に関わる基本的な知識・技能を身に付ける。【知・技】		
② 自分自身や身近な人との関わりについて考えたり表現したりする力を身に付ける。【思・判・表】		
③ 自立的・発展的に生活するための意欲や態度を身に付ける【学・人間】		
各学年・学部重点目標		
小学部(1段階)	小学部(2段階)	小学部(3段階)
簡単な身辺処理や身の回りのことを先生と一緒にやってみよう	必要な身辺処理が分かり、身近な人と関わりながら生活しよう	自分のことに自分から取り組み、意欲を持って生活しよう
中学部(1段階)		中学部(2段階)
働くことに関心を持ち、自立して生活するための力を身に付けよう		働く事への関心を高め、よりよい生活をするための力を身に付けよう
あわせる教科		
小学部	中学部	
生活科、国語科、特別の教科道徳	職業家庭科、国語科、特別の教科道徳、	

※日常生活の指導（合わせた指導）全体計画より

全体計画の活用

日常生活の指導 各段階の指導内容について(小学部)

			1段階(低学年)	2段階(中学年)	3段階(高学年)
	教科	項目	主な内容	主な内容	主な内容
登校後	生活科	ア基本的生活習慣	【身の回りの整理】 □決められた場所に置くなどの整理をする 【身なり】 □簡単な衣服の着脱 【用便】(一日を通して) □用便の手順に気付く □尿意・便意を伝えようとする	【身の回りの整理】 □ハンガーにかけるなど、収納場所や収納方法がわかる。 【身なり】 □衣服の前後や裏表がわかる 【用便】(一日を通して) □用便の手順がわかる	【身の回りの整理】 □靴や衣服の整理など、整理整頓を行おうとする。 【身なり】 □袖口や襟元、すそを整えるなど、身だしなみを整えようとする 【用便】(一日を通して) □一人で用を足す
		ウ日課・予定	【日課】 □簡単な日課に気付いたり、行動したりする。	【日課】 □絵や写真カードを見て、身近な予定がわかる。(一日の予定等)	【日課】 □カレンダーや予定表を見て、一週間程度の予定がわかる。
		オ人との関わり	【自分自身と家族】 □自分の名前を呼ばれて返答する。 【身近な人との関わり】 □お辞儀、手を振る、握手などで挨拶をする。	【身近な人との関わり】 □自分から顔の挨拶をする。	【身近な人との関わり】 □身近な出来事を教師や友達と話す。
		カ役割	【集団の参加や集団内での役割】 □集団の中で活動することに慣れる。	【集団の参加や集団内での役割】 □集団の中で簡単な係活動を果たす。	【集団の参加や集団内での役割】 □活動の見通しを持って、自分の役割を果たす。
		サ生命・自然	【季節の変化と生活】 □天候の変化に気付く。	【季節の変化と生活】 □寒い暑いなどの季節の特徴に関心をもつ。	【季節の変化と生活】 □四季の変化に関心をもつ。
	国語科	聞くこと話すこと	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 □教師の話に応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりする	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 □身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりする。	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 □教師の話などを通して、話の大体を聞き取ること。
	道徳科	道徳全体計画より	(1) 挨拶など、基本的な生活習慣を身につける。 (2) 友達と仲良く生活する。 (3) みんなが使う物を大切にする。 (4) 身近な自然に親しむ。	(1) 自分でできることは自分で行う。 (2) 友達を思いやり、助け合う。 (3) 約束や決まりを守り、みんなで協力し合って生活する。 (4) 自然や動植物に優しい心で接する。	(1) 目標に向かって、やり抜こうとする。 (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。 (3) 働くことのよさを知り、進んでみんなのために働く。 (4) 生命あるものを大切にすること。

全体計画の活用

①事例児を一人決めて、チェックを付ける。

日常生活の指導 各段階の指導内容について(小学部)

			1段階(低学年)	2段階(中学年)	3段階(高学年)
	教科	項目	主な内容	主な内容	主な内容
登校後	生活科	ア 基本的生活習慣	【身の回りの整理】 ☒ 決められた場所に置くなどの整理をする 【身なり】 ☒ 簡単な衣服の着脱 【用便】(一日を通して) ☒ 用便の手順に気付く ☒ 注意・便意を伝えようとする	【身の回りの整理】 ☒ インガーにかけると、収納場所や収納方法がわかる。 【身なり】 ☒ 衣服の前後や裏表がわかる 【用便】(一日を通して) ☒ 用便の手順がわかる	【身の回りの整理】 ☒ 靴や衣服の整理など、整理整頓を行おうとする。 【身なり】 ☒ 袖口や襟元、すそを整えるなど、身だしなみを整えようとする 【用便】(一日を通して) ☒ 一人で用を足す
		ウ 日課・予定	【日課】 ☒ 簡単な日課に気付いたり、行動したりする。	【日課】 ☒ 絵や写真カードを見て、身近な予定がわかる。(一日の予定等)	【日課】 ☒ カレンダーや予定表を見て、一週間程度の予定がわかる。
		オ 人との関わり	【自分自身と家族】 ☒ 自分の名前を呼ばれて返答する。 【身近な人との関わり】 ☒ お辞儀、手を振る、握手などで挨拶をする。	【身近な人との関わり】 ☒ 自分から顔の挨拶をする。	【身近な人との関わり】 ☒ 身近な出来事を教師や友達と話す。
		カ 役割	【集団の参加や集団内での役割】 ☒ 集団の中で活動することに慣れる。	【集団の参加や集団内での役割】 ☒ 集団の中で簡単な係活動を果たす。	【集団の参加や集団内での役割】 ☒ 活動の見通しを持って、自分の役割を果たす。
		サ 生命・自然	【季節の変化と生活】 ☒ 気候の変化に気付く。	【季節の変化と生活】 ☒ 寒い暑いなどの季節の特徴に関心をもち、	【季節の変化と生活】 ☒ 四季の変化に関心をもち、
	国語科	聞くこと 話すこと	【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと ア】 ☒ 教師の話に応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりする	【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと ア】 ☒ 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりする。	【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと ア】 ☒ 教師の話などを通して、話の大体を聞き取る。
	道徳科	道徳全体計画より	(1) 挨拶など、基本的な生活習慣を身につける。 (2) 友達と仲良く生活する。 (3) みんなが使う物を大切にすること。 (4) 身近な自然に親しむ。	(1) 自分でできることは自分で行う。 (2) 友達の思いやり、助け合う。 (3) 約束や決まりを守り、みんなで協力して生活する。 (4) 自然や動植物に優しい心で接する。	(1) 目標に向かって、やり抜くこととする。 (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。 (3) 働くことのよさを知り、進んでみんなのために働く。 (4) 生命あるものを大切にする。

全体計画の活用

②〇と△の間にラインを引く。

日常生活の指導 各段階の指導内容について(小学部)

			1段階(低学年)	2段階(中学年)	3段階(高学年)
	教科	項目	主な内容	主な内容	主な内容
登校後	生活科	ア 基本的 生活習慣	【身の回りの整理】 〇 決められた場所に置くなどの整理をする 【身なり】 〇 簡単な衣服の着脱 【用便】(一日を通して) 〇 用便の手順に気付く △ 尿意・便意を伝えようとする	【身の回りの整理】 〇 ハンガーにかけると、収納場所や収納方法がわかる。 【身なり】 △ 衣服の前後や裏表がわかる 【用便】(一日を通して) 〇 用便の手順がわかる	【身の回りの整理】 △ 靴や衣服の整理など、整理整頓を行おうとする。 【身なり】 × 袖口や襟元、すそを整えるなど、身だしなみを整えようとする 【用便】(一日を通して) △ 一人で用を足す
		ウ 日課・ 予定	【日課】 〇 簡単な日課に気付いたり、行動したりする。	【日課】 〇 絵や写真カードを見て、身近な予定がわかる。(一日の予定等)	【日課】 × カレンダーや予定表を見て、一週間程度の予定がわかる。
		オ 人との 関わり	【自分自身と家族】 〇 自分の名前を呼ばれて返答する。 【身近な人との関わり】 〇 お辞儀、手を振る、握手などで挨拶をする。	【身近な人との関わり】 △ 自分から顔の挨拶をする。	【身近な人との関わり】 △ 身近な出来事を教師や友達と話す。
		カ 役割	【集団の参加や集団内での役割】 〇 集団の中で活動することに慣れる。	【集団の参加や集団内での役割】 〇 集団の中で簡単な係活動を果たす。	【集団の参加や集団内での役割】 △ 活動の見通しを持って、自分の役割を果たす。
		サ 生命・ 自然	【季節の変化と生活】 △ 気候の変化に気付く。	【季節の変化と生活】 × 寒い暑いなどの季節の特徴に関心をもち、	【季節の変化と生活】 × 四季の変化に関心をもち、
	国語科	聞くこと 話すこと	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 〇 教師の話に応じ、音声を確認したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりする	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 〇 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりする。	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 〇 教師の話などを通して、話の大体を聞き取る。
	道徳科	道徳全体 計画より	(1) 挨拶など、基本的な生活習慣を身につける。 (2) 友達と仲良く生活する。 (3) みんなが使う物を大切にする。 (4) 身近な自然に親しむ。	(1) 自分でできることは自分で行う。 (2) 友達を思いやり、助け合う。 (3) 約束や決まりを守り、みんなで協力し合って生活する。 (4) 自然や動植物に優しい心で接する。	(1) 目標に向かって、やり抜こうとする。 (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。 (3) 働くことのよさを知り、進んでみんなのために働く。 (4) 生命あるものを大切にする。

全体計画の活用

③ラインのでこぼこから実態を考える。

できること

もう少しでできそうなこと・課題

		内容について(小学部)		2
		児童(低学年)		
登校後	教科	項目	主な内容	主な内容
	生活科	ア 基本的生活習慣	【身の回りの整理】 ①決められた場所に置くなどの整理をする 【身なり】 ①簡単な衣服の着脱 【用便】(一日を通して) ①用便の順番に気付く △尿意・便意を伝えようとする	【身の回りの整理】 ①ハンガーにかけると、収納場所や収納方法がわかる。 【身なり】 △衣服の前後や裏表がわかる 【用便】(一日を通して) ①用便の順番がわかる
		ウ 日課・予定	【日課】 ①簡単な日課に気付いたり、行動したりする。	【日課】 ①絵や写真カードを見て、身近な予定がわかる。(一日の予定等)
		オ 人との関わり	【自分自身と家族】 ①自分の名前を呼ばれて返答する。 【身近な人との関わり】 ①お辞儀、手を振る、握手などで挨拶をする。	【身近な人との関わり】 △自分から顔の挨拶をする。
		カ 役割	【集団の参加や集団内での役割】 ①集団の中で活動することに慣れる。	【集団の参加や集団内での役割】 ①集団の中で簡単な係活動を果たす。
		サ 生命・自然	【季節の変化と生活】 △気候の変化に気付く。	【季節の変化と生活】 ×寒い暑いなどの季節の特徴に関心をもち、
	国語科	聞くこと 話すこと	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 ①教師の話に応じ、音声や模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりする	【思考・判断・表現/A聞くこと・話すこと ア】 ①身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりする。
	道徳科	道徳全体計画より	(1)挨拶など、基本的な生活習慣を身につける。 (2)友達と仲良く生活する。 (3)みんなが使う物を大切にすること。 (4)身近な自然に親しむ。	(1)自分でできることは自分で行う。 (2)友達を思いやり、助け合う。 (3)約束や決まりを守り、みんなで協力し合って生活する。 (4)自然や動植物に優しい心で接する。

全体計画の活用

④目標の焦点化

平均して、2～3段階程度の実態だが、
1段階が△の項目がある。

衣服の着脱

タオルで拭く

荷物を入れる



共通して…

課題の整理

基本的な手指機能は育っているものの、
活動に応じた手指の動かし方が課題。

目標
指導内容

自立活動：手指を使った学習
日常生活の指導：単純な動作の内容から目標に

全体計画の活用

⑤その他の場面での目標や活動を考える

④以外で△の項目に注目する。

あいさつ

天候の変化



あいさつ

言葉やハイタッチ、イラストカード等、本人が相手に伝えやすい方法を探る。

天候の
変化

登校・下校の時間帯に、教室から見える空の様子をiPadで撮影する。

朝の会や帰りの会で、空の写真を見比べて、前日からの変化や、朝と帰りでの変化等を考える場面を設定する。

全体計画の見直し

1段階よりも発達段階
が初期の項目が必要。
(自立活動との連携)

2段階と3段階の間に
もう1つ段階が必要。
ステップが急すぎる。

段階によってある項目
と無い項目の扱い。
“同左”項目の扱い。
項目の新設が必要か。

日常生活の指導 各段階の内容について(小学部)

		1段階(低学年)	2段階(中学年)	3段階(高学年)
教科	項目	主な内容	主な内容	主な内容
登校後	生活	ア 基本的生活習慣 【身の回りの整理】 ☐ 決められた場所に置くなどの整理をする 【身なり】 ☐ 簡単な衣服の着脱 【用便】(一日を通して) ☐ 用便の順番に気付く ☐ 尿意・便意を伝えるとする	【身の回りの整理】 ☐ ハンガーにかけるなど、収納場所や収納方法がわかる。 【身なり】 ☐ 衣服の前後や裏表がわかる 【用便】(一日を通して) ☐ 用便の順番がわかる	【身の回りの整理】 ☐ ハンガーにかけるなど、整理整頓を行うとする。 【身なり】 ☐ 洋服の前後や襟元、すそを整えるなど、身だしなみを整えようとする 【用便】(一日を通して) ☐ 一人で用を足す
	ウ 日課・予定	【日課】 ☐ 簡単な日課に気付いたり、行動したりする。	【日課】 ☐ 絵や写真カードを見て、身近な予定がわかる(一日の予定等)	【日課】 ☐ カレンダーや予定表を見て、一週間程度の予定がわかる。
	オ 人との関わり	【自分自身と家族】 ☐ 自分の名前を呼ばれて返答する。 【身近な人との関わり】 ☐ お辞儀、手を振る、握手などで挨拶をする。	【身近な人との関わり】 ☐ 自分から顔の挨拶をする。	【身近な人との関わり】 ☐ 身近な出来事を教師や友達と話す。
	カ 役割	【集団の参加や集団内での役割】 ☐ 集団の中で活動することに慣れる。	【集団の参加や集団内での役割】 ☐ 集団の中で簡単な係活動をする。	【集団の参加や集団内での役割】 ☐ 活動の見通しを持って、自分の役割を果たす。
	サ 生命・自然	【季節の変化と生活】 ☐ 天候の変化に気付く。	【季節の変化と生活】 ☐ 寒い暑いなどの季節の特徴に関心をもつ。	【季節の変化と生活】 ☐ 四季の変化に関心をもつ。
国語科	聞くこと 話すこと	【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと ア】 ☐ 教師の話に応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりする	【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと ア】 ☐ 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりする。	【思考・判断・表現/A 聞くこと・話すこと ア】 ☐ 教師の話などを通して、話の大体を聞き取る。
道徳科	道徳全体計画より	(1) 挨拶など、基本的な生活習慣を身につける。 (2) 友達と仲良く生活する。 (3) みんなが使う物を大切にする。 (4) 身近な自然に親しむ。	(1) 自分でできることは自分で行う。 (2) 友達を思いやり、助け合う。 (3) 約束や決まりを守り、みんなで協力して生活する。 (4) 自然や動植物に優しい心で接する。	(1) 目標に向かって、やり抜こうとする。 (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。 (3) 働くことのよさを知り、進んでみんなのために働く。 (4) 生命あるものを大切にする。

